

入室・退室時の挨拶の徹底について

2019 年 2 月 10 日(日)より、学習塾ヘウレーカでは正しい入室の仕方、挨拶、退室の仕方を徹底します。正しい所作と挨拶は社会に出た時のマナーの一つであり、こうした礼儀を守れる心の余裕を持つておくことは人として非常に重要なことです。また、受験で面接試験のある生徒にとっては面接所作の練習になりますので、この機会を積極的に活用しましょう。

入室時の所作

1. 扉を開ける前に、2 回ノックをする（マナーとしては 3 回でもよい）。
2. 「どうぞ」と中から声が聞こえたら、静かに扉を開けて入室。中にいる講師とアイコンタクト・会釈をする。
※実際の来塾時は講師が声をかけられない場合もありますので、声が聞こえなくてもそのまま入室してください。
3. できるだけ室内に背を向けられないよう身体を斜めにして、扉を閉める。
4. 扉の前に姿勢良く立ち、「こんにちは。」（1 限の場合は「おはようございます。」）とはっきり言ったら、45°の礼をする。この際、分離礼を徹底すること。動きを流さず、一つ一つ丁寧に行う。

退室時の所作

1. 扉の前に立ち、「ありがとうございました。」とはっきり言ったら、45°の礼をする。ここでも分離礼を徹底。
2. 室内に背を向けられないよう扉を開け、一歩下がるようにして外に出る。中にいる講師とアイコンタクト・会釈をする。
3. 自らの手で扉を閉めてから帰宅する。

注意

・ヘウレーカは引いて開ける扉ですが、試験での面接室は押して開ける扉が一般的です。基本的な所作は変わりませんが、その点だけご注意ください。

・ヘウレーカの扉は、生徒の安全のためゆっくりと閉まるようになっています。実際のマナーでは自らの手で最後まで扉を閉めますが、ヘウレーカでは扉が閉まる途中でも閉まったものとみなし、手を離しても構いません。

扉を開閉する際の手の使い方

（ヘウレーカの扉の場合）入室するときは右手で扉を開け、入ったら左手で扉を閉める。退室するときは右手で扉を開ける。